

平成25年度第4回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成25年11月26日（火） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 〈参加者〉 作新学院大学経営学部 学生6名
〈市側〉 市長

● 主な内容（抜粋）

参加者： 自分達もLRTについて調べて発表をしたり、学校の文化祭で展示発表をしたところ、反対と賛成の意見がありました。反対の方々は利便性についてきちんと理解をしていないという印象を受けました。

例えば、「LRTを走らせるのはいいが、LRTを降りてから、自分達のような高齢者は、若い人達のように目的地まで歩いて行けません。」という高齢者の方がいました。

そこで、自分達はトランジットセンターを考えてみました。LRTを降りたところに自転車を置いて無料貸出をすることを提案していますが、市民全員がきちんと理解しないと進めることができないと感じています。市民にLRTを通したうえで各地域とを結ぶ交通手段があるということを伝えていかないと反対の人達は納得しないと思います。

市長： これまでも様々な場所で多くの方に対して説明会を開催してきたところであり、昨年は、市内全域を14地区に分けて説明会を開催し、私自身も東西南北、中央の5ヶ所において説明を行いました。

また、昨年に引き続き、オープンハウスを大型ショッピングセンターなど人が多く集まる場所で開催しており、パネル展示を行い、職員がそこで様々な質問を受け付けるということをやっています。

LRTに関して反対意見は3つあります。1つ目は多額の税金が投資されることにより、宇都宮の財政が破綻してしまうのではないかとという意見です。2つ目は実際に営業が始まると運営会社が赤字に陥り、税金で赤字補てんするために税金が上がってしまうのではないかとという意見です。3つ目は車線を潰してLRTを通すのでますます交通渋滞になってしまうのではないかとという意見です。反対意見はこの3つに集約されます。

しかし、集会で話をすると、「聞いていた話と違う」ということで賛成に転じていただいています。これからもオープンハウスなどを継続して行うとともに、39地区連合自治会を対象に説明会を開催するなど、丁寧に説明を行っていきます。

市 長： ゼミのグループは2つですか？

参加者： はい、1つがロハスに関するゼミで、もう1つが高齢化社会に関するゼミです。

市 長： 宇都宮をロハスなまちにするにはどうするのがいいと考えますか？

参加者： ロハスとは環境にやさしいことなど様々なことが含まれ、グリーンカーテンなど手軽にできるものもありますが、自分達が出した結論は太陽光発電です。宇都宮は日照時間が全国10位以内なので太陽光発電が適していると思っています。

市 長： 1人がやっていることが10人に増え、1万人に増えれば大きな効果が生まれると思います。市でも太陽光発電への補助を行っています。

参加者： 私は神奈川出身ですが、宇都宮に来て驚いたことは渋滞が多いということです。約3年間宇都宮に住んでいますが、あまり宇都宮駅の西側に行くことはありません。でもLRTが通ると皆さんがどんどん使うのではないかと思います。

市 長： 公共交通に慣れていない宇都宮市民、栃木県民は公共交通を使う習慣をつけないかなければなりません。特に我々の年代は元気なうちから、車も使いつつ、たまには公共交通で乗り換えて移動するという習慣をつけないと、LRTが出来て、バス路線が充実しても、車の運転が出来なくなった時点で生活が出来なくなってしまいます。自動車社会が充実している栃木県にとっては、生活習慣を変えていくことが求められていると思います。

市 長： 最後に、皆さん、まちづくりや行政に対して関心を持つだけでなく、意見を出してください。よりよいまちをつくっていくために自分も納得できるように話をする。これからのまちづくりでは自分たちでアイデアを出して、自分たちの考えを行政がどう形にするかということでもいいまちができると思います。



市長とランチでトーク参加者のみなさん